ロータリー：
変化をもたらす

Rotary
国際ロータリー第2530地区
Weekly Report
郡山東ロータリークラブ会報

2017～2018年間テーマ
会員ファースト

会長：過 足 和 茂　幹事：根 本 朝 秋　クラブ会報・雑誌・広報委員長：菅 野　篤

■例会日／毎週火曜日　■例会場／郡山ビューホテル　TEL024-924-1111

●事務局／〒963-8844 郡山市字賀庄15-1 新沢ビル302　●TEL024-973-7813　●FAX024-973-7814
●http://ri2530koriyama-east.org　●Email:kerc@cyber.ocn.ne.jp

クラブ創立記念日：1970年4月5日

第26回例会
（通算2308回）

2018年2月6日（火）
開会点鐘 国歌 奉仕の理想 四つのテスト

会長あいさつ　過足和茂 会長

節分の話

2月3日は節分、「季節を分ける」という意味です。年に4回ありますが2月3日が一番有名だそうです。豆まきにお相撲さんが呼ばれますが、調べてみると、お相撲さんは四股を踏みます。四股は「醜（しこ）」、世の中の汚れのことだそうです。四股を踏むのはお相撲さんなので、昔からお相撲さんがゲスト参加していたそうです。

退会あいさつ　國分義之会員

研究のためにニュージーランドに短期留学をすることになり、12月末で退会させて頂きました。創立50周年に向けて団結している時に申し訳なく思います。期間はわかりませんが、戻って参りましたら起業したいと考えています。短い間でしたが皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございました。

幹事報告　根本朝秋 幹事

●2月のロータリーレート　1ドル＝110円
●回覧…2016-17年度「地区要覧」誌・米山記念奨学会50周年のあゆみ・2017-18年度地区補助金プロジェクト申請報告書
●抜粋のつづり43のご案内

活動報告　吉田純男社会奉仕委員長

ロータリーの公共イメージ向上のため、郡山の民話のぼり旗を制作し、イベント等で活動した内容、また名入れテッシュペーパー配布の報告書を提出、地区HPにアップされておりますのでご覧下さい。

・モンゴル伝統芸能チャリティーコンサート（11月10日）
・こども語り部の歳末たすけあい募金活動（12月3日）

とうほう地域総合研究所定期講演会のご案内
清野正人会員（東邦銀行郡山南支店支店長）

3月16日（金）15:00～16:30（ホテルハマツ）入場無料
「揺れ動く内外情勢とこれからの政治経済」　講師：田崎史郎氏（時事通信社特別解説委員）

おいで頂ける時は私にお声がけ下さい。東邦銀行では、各種セミナーを開催しております。よろしくお願い致します。

2月の誕生日

大橋　純（S47.2.4）　矢吹武治（S28.2.14）　鴫原和義（S56.2.18）
芝田机太郎（S56.2.25）　志賀　誠（S42.2.26）

ニコニコ BOX

郡山アーバンRC　鈴木尚子様
過足和茂　根本朝秋　葛西秀匡　高田藤太郎　中村秀勝　加藤昌幸　一條武人
佐藤雄三　橋詰勝雄　小川則雄　根本一男　小池正幸　柳沼莞爾　吉田純男
菅野　篤　清野正人　真壁　健　佐藤義幸　上田　眞　大橋　純　伊藤清正
鴫原和義　矢吹武治

財団 BOX

根本朝秋　小川則雄　小池正幸　柳沼莞爾　吉田純男　佐藤一正　矢吹武治

米山記念奨学会

根本朝秋　橋詰勝雄　矢吹武治

出席報告　会員数36名　出席25名　欠席11名　出席率71.42%

ゲスト卓話「男の身だしなみ」
（有）マダムタカコカンパニー代表取締役　鈴木尚子様（アーバンRC）

中央分区で初めて女性が入会できるアーバンRCができたのが21年前、珍しかったこともあり、郡山東RCで卓話をさせて頂きました。チャーターメンバーとしてなんとかやってまいりました。

アーバンRC名誉会員コシノヒロコさんとは学生時代からの付き合いです。「デザインの力で未来の子ども達を支援しよう」ということで活動、私もお手伝いしています。自分の職業で少しでもお役に立てればと思っています。

今日は男性だけのクラブですので、ちょっとしたおしゃれについて、お話をします。グローバルな時代ですから、ちょっとしたおしゃれを身につけておおいに羽ばたいて頂きたいと思います。

チーフの使い方について

郡山の人はチーフをしていません。講演会などの後にはパーティーがあります、その時にハンカチを忍ばせ、胸ポケットに差して下さい。それくらいの心遣いがあっていいと思います。いくつになってもおしゃれを楽しんで下さい。

紙ナプキンを使ってチーフの練習、普段は綿で、フォーマルではシルクを使いましょう。コーディネイトのモデルは過足会長と鴫原和義会員。とてもお似合いでした。

第7回役員理事会　審議事項　平成30年2月6日（火）
●2-4月プログラム　●ＩＭについて、休会について、職場訪問、研修旅行について、他
●50周年組織案　●郡山の民話CDについて　●2018-19年度委員会組織案
●地区補助金プロジェクト企画案　●米山奨学生世話クラブについて

（株）郡山自動車学校
代表取締役　小 川 則 雄
郡山市田村町金屋マセロ53　TEL024-944-0440

第27回例会（通算2309回）　中央分区2017-18年度インターシティミーティング

2018年2月18日（日）13:30登録
ホテルハマツ

主催者挨拶
中央分区ガバナー補佐
佐藤和夫 様

来賓挨拶
国際ロータリー第 2530 地区
ガバナー 鈴木邦典 様

今年度ＲＩ会長はロータリーの公共イメージ、認知度の向上を掲げています。グローバル補助金を活用した事業、米山奨学生は、まさにロータリーが何をしているかがわかります。今日は有意義な一日になることを願っています。

歓迎の言葉
IM実行委員長
早川敬介 様
（郡山北 RC）

国際ロータリーグローバル補助金
GG1639968 中間報告会
福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
初澤敏生 様

初澤様より謝辞。続いて郡山北RCがグローバル補助金事業として支援する、菜の花栽培を通じて被災地の農業再生を支援するプログラムの報告が行われました。菜の花、菜種油の特性、取組み、搾油所、商品開発、課題などについて報告されました。v

元米山記念奨学生並びに米山学友による体験発表
委員長 石黒秀治 様・学友委員長 阿部光司 様
元米山記念奨学生 劉　鵬 様　他４名

石黒委員長よりあいさつ。続いて元米山奨学生劉 鵬 様から体験発表。そして、福島県内で勤務、起業している米山学友によるディスカッションが行われました。皆優秀な方々で、今後の活躍が期待されます。

懇親会　勇壮なパフォーマンスを楽しみ、親睦を深めました。

アトラクション　Yosakoi：福島学“源種”～seed～

ロータリーソング「手に手つないで」

出席報告　会員数36名　出席21名　欠席15名　出席率60%　前回修正率68.57%
●他クラブ出席　地区会議…佐藤雄三　地区行事…清野正人　佐藤義幸　矢吹武治

(株)リースキン郡山
代表取締役社長　大 橋　　純
郡山市久留米6-72-1　TEL024-947-3737

第28回例会（通算2310回）　2018年2月20日（火）
開会点鐘 我らの生業　四つのテスト

会長あいさつ　過足和茂 会長

花蓮RCへのお見舞い

先日のＩＭのご参加ありがとうございました。

去る2月6日深夜、台湾花蓮で大きな地震がありました。郡山東RCと花蓮RCは友好クラブです。先週、臨時役員理事会を開きました。東日本大震災では義援金100万円を頂きました。理事会裁量でそれと同等の見舞金を送ることが決まりましたことをご報告します。また、中村秀勝会員から花蓮RCとの友好をお聞きし、また資料文書を頂きました。読んで頂くと郡山東RCの歴史を知ることができます。

幹事報告　根本朝秋 幹事

●2月13日臨時役員会報告　台湾東部花蓮大地震
　友好クラブ花蓮RCへのお見舞金について

認証授与

＜個人＞
ロータリー財団特別寄付ポールハリスフェロー（1回）相山 進会員
米山記念奨学会個人寄付 第1回米山功労者 小池正幸会員
＜クラブ＞
第14回米山功労クラブ感謝状（寄付累計金額￥21,258,405）

第 2530 地区ガバナーより新会員名入り地区バナー授与

矢吹武治会員　渡部智昭会員

米山梅吉記念館研修旅行のご案内
根本輝久 米山記念奨学会委員長

4月14日～15日の研修旅行は、20名のご参加を予定していますが、現在11名、ぜひご参加をお願い致します。

ゴルフ愛好会からのお知らせ
事務局 根本輝久会員

先日のＩＭの際、郡山北RCから、ぜひ今年の春に合同ゴルフコンペを開催しましょうとご提案を頂きました。

日程が決まりましたらご案内致します。多くの方のご参加をお待ちしております。

ニコニコ BOX
郡山RC　神山英司様
過足和茂　根本朝秋　葛西秀匡　髙田藤太郎　中村秀勝　加藤昌幸　一條武人
佐藤雄三　橋詰勝雄　小池正幸　柳沼莞爾　相山　進　根本輝久　吉田純男
川村雄一郎　菅野　篤　清野正人　真壁　健　上田　眞　伊藤清正　矢吹武治
渡部智昭

財団 BOX
過足和茂　根本朝秋　吉田純男　矢吹武治

米山記念奨学会
過足和茂　根本朝秋　橋詰勝雄　根本輝久

出席報告　会員数36名　出席24名　欠席12名　出席率68.57%

ゲスト卓話「調停あれこれ」
民事調停員　神山英司様（郡山細沼郵便局長・郡山 RC 会員）

私の家は祖父の代から郵便局長で、祖父と父も調停員でした。3代続いています。調停員は41歳から22年になります。民事調停員と家事調停員両方をしています。

22年前はサラ金ばかりで、一人でよくこんなに借りたと思う方がたくさんおりました。法定金利（法律で決められた上限）がありますが、当時のサラ金は38%位、金利を毎月払っても、返済が遅れると反則金がつくので、元金までいきません、返済不可能です。一番驚いたのは40%、これが裁判所に来た時に法定金利に変わり、40%が一気に20%位に下がります。CMなどでやっている「返還請求」がそうです。それができるようになってからサラ金関係は減りました。民事はお金の話が中心です。どうしていいのかわからないことなど、いろいろな経験をさせて頂きました。

民事よりも家事の方が多いです。これまで300組位のご夫婦の間に入りました。妻の罵詈雑言を聞きながら、どんな夫かと思うと優しそうな人だったりします。

裁判は法による判決ですが、調停はあくまで「話し合い」です。調停員は話し合って、お互い納得のいく結論を求めていく立場です。決まった結論は判決と同じで、執行されなければ強制執行されます。

調停は人の話をよく聞いて、いい方向に向かわせること。経験は役に立ちません、人それぞれ全く違う、上から目線では間違えると思います。

私のやり方は説得型です。例えば夫婦間の争いを10年近くしている。奥様は他の方と暮らし、男性には未練がありますが、どんなにがんばっても戻る要素はありません。3回目の調停の時、私は「ずいぶん長くやってらっしゃいますね。こんなに長く悩まれて、人生もったいなくないですか。その10年間を違うことに費やすこともできたのではないですか。」と言いました。それがきっかけの一つになり、考え方が少しづつ変わってきました。悩む時間はできるだけ短い方が得だと、調停に携わるようになってからしみじみ考えます。時間は有限です。もったいないです。

調停で心がけているのは、故石川弁護士の「座り心地のいい結論を求めて行け」という言葉です。少しづつ話をしながら、100と言ったけど50でいいかと…これが座り心地のいい結論です。日常の中でも大事なことです。100%とは自分の落ち度に気がついていないということ。こういう見方もある、ちょっと離れる、一呼吸置けば物事はよく見えてきます。

（株）ヤマカ不動産
代表取締役　葛 西 秀 匡
郡山市池ノ台19-35　TEL024-922-5001